

緩和ケアセンター

～痛みや不安なく治療を受けて頂くために～

「緩和ケア」と聞くとがんの終末期医療をイメージされていませんか？ 緩和ケアは終末期に限らず、患者さんの体の痛みや気持ちが落ち込むなど心のつらさを和らげるためのサポートを行い、診断されたその日からがん治療と並行して行われるケアです。

緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、多職種で患者さんに対する疼痛緩和、症状緩和、精神的な支援や家族支援、在宅での療養の場の調整などを行っています。

常に患者さんの主治医と情報共有し、化学療法センター、がん相談支援センターなど他部門と連携して支援しています。

相談内容としては体の痛みが最も多く、続いて精神的な支援や退院後のご自宅での療養の支援などとなっています。がん患者さんの1・2割の方が早い時期から痛みを感じ、再発や病状の進行により痛みがあらわれる人は約7割になります。痛みをがまんしていると、不眠や食欲不振をまねき気力も低下します。患者さんが痛みなくいつもの生活を送りながら治療が行えることをめざしています。



緩和ケア外来

緩和ケア医や看護師による外来を毎日行っています。

当院の緩和ケア外来を受診されたい場合は、普段かかりつけの主治医にご相談ください。

*緩和ケアを目的とした入院治療は行っていません。



サポートグループ

がん患者さんや、ご家族、ご遺族の方を対象としたグループ療法を定期的開催しています。

問合せ先：精神科外来

ご意見への回答

Q. 胃カメラなどの時に更衣室に荷物を入れられるロッカーを置いて欲しい。有料でも良いので置いていただけないでしょうか。

A. 更衣室内でのロッカーにつきましては、現状のスペースでは設置が困難な状況です。貴重品以外の荷物は1階正面玄関入口左手にコインロッカーがございますのでご利用ください。

Q. 短期間の入院でしたが、主治医・看護師さんに温かな対応をしていただき気持ちの良い入院生活をおくれました。担当看護師さんの行き届いた心配りに救われました。感謝とお礼を申し上げます。

A. この度はお褒めの言葉をいただきありがとうございました。今後も、患者さんに対して心温かな信頼される医療を提供できるように努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

Topics

地域がん診療連携拠点病院

基本理念

豊中市の地域中核病院として「心温かな信頼される医療」を提供します。

基本方針

- 1 患者さんの立場に立った心温かな病院をめざします。
- 2 地域の中核病院として安全で質の高い医療を提供します。
- 3 医療機関との連携を密にし、市民の健康を守るために努力します。
- 4 少子高齢化社会に対応する医療を推進します。
- 5 病院職員の教育・研修の充実を図ります。



当院は、厚生労働省より指定された「地域がん診療連携拠点病院」です。

地域がん診療連携拠点病院とは、がん診療の地域格差をなくし、全ての地域で質の高いがん医療を提供できる体制づくりを推進するため、地域のがん医療の中核となる医療機関として指定された病院です。

がん治療だけでなく、地域の医療従事者への研修や、がん患者さんに対するがん治療に関する情報提供や相談支援、地域住民の方向けがん医療市民公開講座の開催をしています。

